

ねりいた

練板ベー通信

2004年3月19日 vol.23
練馬板橋ベーゴマの会



NIB初快拳だ、山2澤村くんが完全優勝!

ますます下克上、平井さん惜しくも初優勝を逃す

ついにこの日がやって来てしまった。いつかはこうなることを誰もが予感していたに違いない。澤村時哉くん小学2年、全身をつかったフォームで、初登場で完全優勝とはおどろきだ。スギ花粉舞う3月14日(日)練馬区立北町小学校で「第四期赤中王戦」を開催した。

乾ききった校庭をトシ田口が入念な水まきだ。花粉症にはキツイ季節だね。昼食前の「名人戦」では、ナベ、鉄人大竹が依然トップ、だがここに Mr.高橋が割り込んできた。ホッシーもいきなり5位に入りますます混戦模様だ。この日のタイトル戦「赤中王戦」には26名がノミネート。子ども組予選通過は風間、篠トモ、ノグチ、澤村、RYO 加藤、山田の6名。3位決定戦に敗れた藤原、篠ヒデは惜しかったなあ。イヨリもリキついてきたゾ、次回もがんばれ!そしておとな組予選通過は若頭中島、松ちゃん、Mr.高橋、Mrs.高橋、トシ田口、ホッシー、顧問中島、平井の8名だ。最古参の鉄人大竹、釣人今村、ラッキー会長はそろって討ち死に、努力が実を結ばないねえ。

決勝リーグトップ通過はホッシー、平井、ノグチ、Mrs.高橋の4名。この日のノグチは名人戦から好調だった。松ちゃん、篠トモをすっ飛ばし、二度目の決勝トーナメント出場に顔を紅潮させる。これに2位通過の若頭中島、RYO 加藤、トシ田口、澤村くんを加えた8名による決勝Tとなった。若頭中島、RYO 加藤はともに10月以来、久々の進出だ。しかし、平井がその RYO 加藤をねじふせ、トシ田口を破ったホッシーもしりぞけ決勝3番勝負へと進む。一方、若頭中島がぐっとためた六甲おろしで好調ノグチをすっ飛ばすと、澤村くんも Mrs.高橋をすっ飛ばす。その勢いで澤村くんは若頭中島をも餌食にし、決勝3番勝負へ一直線だ。平井 VS 澤村、どちらが勝っても

初優勝。掛け声とともに両者がベーを投げ入れる。リキ勝負に入り澤村くんがまず先行する。しかし2本目、平井ベーが澤村ベーをもの見事にすっ飛ばす。これで1対1だ。静かな両者だが、闘志をおさえた顔に力がこもる。「チッチのチ」、二人の体が校庭に舞う。投げ入れたベー同士が火花を散らす。1回、2回、3回、ぶつかり合うがともにこらえる。そしてまたしてもリキ戦へ、平井のベーが先に止まった。ついに小学生初優勝の瞬間だ。ウォーッ!輪になった仲間から歓声上がる。ついに、ついに、恐れていたことが現実になってしまった。これだからベーゴマはわからない。だからベーゴマは面白い。そうだね、みんな。



澤村時哉くん(小学2年)



シリーズ 田口コレクション その3



昭和に作られた「巨人」「阪神」のベーゴマ。当時も子どもたちに人気だった。この型はもうどこにもないんだよなあ。新ベーじゃないところがいいね。